

第1 総括事項(公益目的事業)

公社は、愛知県内における上下水道施設、環境測定施設及び排水施設等社会インフラの適正かつ効率的な運営管理等を行うとともに、そこで得た知識及び技術を社会に積極的に移転、拡大して、県内の環境保全と公衆衛生の向上及び災害の防止を図り、もって地域の健全な発展に寄与することを目的として活動しました。

第2 庶務に関する事項

1 評議員会及び理事会の開催

開催年月日 開催内容	審議事項	議決内容
平成29年4月1日 第19回理事会 決議省略による	提案事項1 常務理事の選定について 提案事項2 重要な使用人の選任について	原案どおり同意 原案どおり同意
平成29年5月31日 第20回理事会	第1号議案 平成28年度事業報告について 第2号議案 平成28年度決算について 第3号議案 就業規程の一部改正について 第4号議案 第17回評議員会の目的である事項に係る議案(評議員及び役員の選任)について 第5号議案 第17回評議員会の招集について 報告事項 職務執行状況の報告について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり了承
平成29年6月30日 第17回評議員会	第1号議案 平成28年度決算について 第2号議案 評議員の選任について ～第13号議案 第14号議案 役員の選任について ～第25号議案 報告事項 平成28年度事業報告について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり了承
平成29年6月30日 第21回理事会 決議省略による	提案事項1 理事長の選定について 提案事項2 常務理事の選定について 提案事項3 重要な使用人の選任について	原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意

平成30年2月7日 第22回理事会 決議省略による	提案事項1	第18回評議員会の招集について (役員の報酬額の改定について)	原案どおり同意
平成30年2月23日 第18回評議員会 決議省略による	提案事項1	役員の報酬額について	原案どおり同意
平成30年3月28日 第23回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 第7号議案 第8号議案 報告事項	平成30年度事業計画について 平成30年度収支予算並びに資金調達 及び設備投資の見込みについて 就業規程の一部改正について 事務局組織規程の一部改正について 個人情報保護規程の一部改正について 情報公開規程の一部改正について 第19回評議員会の目的である事項に 係る議案(評議員及び理事の補欠選任 、理事の選任)について 第19回評議員会の招集について 職務執行状況の報告について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり了承
平成30年3月28日 第19回評議員会	第1号議案 ～第8号議案 第9号議案 ～第13号議案 第14号議案 報告事項(1) 報告事項(2)	評議員の辞任に伴う補欠選任について 理事の辞任に伴う補欠選任について 理事の選任について 平成30年度事業計画について 平成30年度収支予算並びに資金調達 及び設備投資の見込みについて	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり了承 原案どおり了承

2 評議員の異動

異 動 年 月 日	評議員名	氏 名	摘 要
平成29年4月1日	評 議 員	原 晃一	就 任
	評 議 員	大林 由孝	就 任
	評 議 員	金子 隆美	就 任
	評 議 員	近藤 初	就 任
	評 議 員	田口 厚志	就 任
平成29年6月30日	評 議 員	原 晃一	再 任
	評 議 員	大林 由孝	再 任
	評 議 員	小瀬村昌治	再 任
	評 議 員	近藤 朗	再 任
	評 議 員	金子 隆美	再 任
	評 議 員	本多 克裕	再 任
	評 議 員	宇佐美光彦	再 任
	評 議 員	笠原 健次	再 任
	評 議 員	根木 賀明	再 任
	評 議 員	近藤 初	再 任
	評 議 員	田口 厚志	再 任
	評 議 員	波多野直人	再 任
平成30年3月31日	評 議 員	原 晃一	辞 任
	評 議 員	大林 由孝	辞 任
	評 議 員	小瀬村昌治	辞 任
	評 議 員	本多 克裕	辞 任
	評 議 員	宇佐美光彦	辞 任
	評 議 員	笠原 健次	辞 任
	評 議 員	根木 賀明	辞 任
	評 議 員	波多野直人	辞 任

3 理事の異動

異 動 年 月 日	役員名	氏 名	摘 要
平成29年4月1日	理事	鈴木 茂彦	就 任
	理事	水谷 博光	就 任
	理事	坪井 光広	就 任
平成29年6月30日	代表理事	寺澤 義則	再 任
	理事	鈴木 茂彦	再 任
	理事	久保 裕志	再 任
	理事	種村充誉広	再 任
	理事	加藤 俊宏	再 任
	理事	水谷 博光	再 任
	理事	黒田 敏裕	再 任
	理事	市川 光	再 任
	理事	西垣 正則	再 任
	理事	坪井 光広	再 任
	監事	倉本 繁八	再 任
	監事	菅沼 利元	再 任
平成30年3月31日	代表理事	寺澤 義則	辞 任
	理事	久保 裕志	辞 任
	理事	種村充誉広	辞 任
	理事	加藤 俊宏	辞 任
	理事	市川 光	辞 任
	理事	西垣 正則	辞 任

4 監査の実施

実 施 年 月 日 等	事 項	摘 要
平成29年5月25日	平成28年度事業報告について 平成28年度決算報告について	監 事 倉本 繁八 監 事 菅沼 利元
毎 月	例 月 監 査	監 事 倉本 繁八
四 半 期	四 半 期 監 査	監 事 倉本 繁八 監 事 菅沼 利元

5 その他

・「あいち女性輝きカンパニー」認証取得

女性の活躍促進に向けて積極的に取組を推進する企業として、平成29年11月30日に愛知県から認証されました。さらに、お互いを尊重し認め合い、職員各々が、個性や能力を最大限発揮できるよう、ダイバーシティ推進行動計画を12月20日に策定しました。

第3 平成29年度事業実績の概要

1 下水道部の事業

(1) 流域下水道施設に関する技術等を活用した事業

ア 流域下水道運営管理

愛知県が設置した11流域下水道（豊川、五条川左岸、境川、衣浦西部、矢作川、衣浦東部、日光川上流、五条川右岸、新川東部、日光川下流及び新川西部）について、指定管理者として、適正な運営管理事業を実施し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図りました。

なお、矢作川浄化センターと豊川浄化センターで、三河湾の漁業生産の維持安定化を図るため、冬場に低下傾向を示す栄養塩類の濃度を回復させる目的で、11月から3月の間、リン濃度を適切に管理する試験運転を行いました。

平成27年3月に一部の流域下水道でISO55001の認証を取得したアセットマネジメントシステムはPDCAサイクルを繰り返すことで継続的に改善活動を進めてきましたが、運用から3年が経過し今年3月に更新認証を受けました。

平成29年度 流入水量及び汚泥発生量

浄化センター名	流入水量（千m ³ ）	汚泥発生量（t）	焼却灰発生量（t）
豊川浄化センター	24,666	11,855	1,070
五条川左岸浄化センター	26,144	15,785	663
境川浄化センター	57,827	43,490	—
衣浦西部浄化センター	19,454	17,418	847
矢作川浄化センター	79,259	62,484	2,308
衣浦東部浄化センター	8,428	8,209	—
日光川上流浄化センター	13,648	11,116	—
五条川右岸浄化センター	8,106	7,022	—
新川東部浄化センター	3,393	2,959	—
日光川下流浄化センター	5,223	3,621	—
新川西部浄化センター	885	823	—
合計	247,033	184,781	4,888

※表示桁数未満は四捨五入のため、合計値と合わないことがあります。

(ア) 水処理業務

各市町より流入する下水を適切に処理し、良好な処理水質を確保するため以下の業務を実施しました。

- a 汚水ポンプ、最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池、薬品混和池、ブロワなど各設備の運転操作、監視、点検、調整及び修繕を行いました。
- b 汚水の各処理段階での状況確認や調査分析結果などを基に、コスト低減及び、省エネルギー等に考慮した処理計画を立案し、運転管理を行いました。また、流入水の水質や水量の変動に対して迅速な状況判断による運転操作を行い、適切な処理を実施しました。
- c 放流水質については、各種の分析試験及び測定を行い、法令等の基準の遵守を確認しました。

(イ) 汚泥処理業務

水処理の過程で発生した汚泥の適切な処理処分を行う為、以下の業務を実施しました。

- a 濃縮槽、脱水機、汚泥焼却設備など各設備の運転操作、監視、点検、調整及び修繕を行いました。
- b 発生した汚泥について成分等の分析を行い、処理処分に対する法令等の基準の遵守を確認しました。
- c 汚泥の有効利用として、民間企業によりセメントや肥料等の原料として再生利用しました。

(ウ) 計測点監視業務

計測点における水量、水質についてテレメータによる常時監視と定期巡回を実施し、流量の測定、悪質下水の監視及び流入防止に必要な措置を講じました。

イ 汚水及び汚泥の処理方法の調査研究

効率的な維持管理やコスト削減等に資するため、汚水処理及び汚泥処理などに関して、以下のテーマで調査研究を行いました。

(ア) 汚泥消化設備稼働に伴う維持管理への影響に関する調査

(イ) 汚水・汚泥・空気の適正な分配調整に配慮した水処理施設の構造に関する調査

(ウ) 一軸回転刃式しき破碎機の効果に関する調査

(2) 下水道に関する技術及び知識の普及・啓発、技術支援事業

ア 下水道知識等の普及啓発活動

広く県民の皆さまに下水道への理解と関心を深めていただくとともに、下水道への接続利用の促進を目的として、各浄化センターで「処理場見学」や「夏休み親子下水道教室」を開催しました。

また、県が小学校へ出向いて下水道の授業を行う「下水道出前講座」、各流域下水道推進協議会主催の「普及啓発イベント」に参加協力しました。

その他、名古屋文理大学において、「台所から学ぶ下水道」と題し、管理栄養士を目指す学生を対象に特別講義や、大学祭にて来場者に対し簡易試験による汚れの測定や下水道に関するクイズを実施しました。

(ア) 処理場見学

見学者：6,647名

(イ) 夏休み親子下水道教室

参加者：9浄化センター合計320名

(ウ) 下水道出前講座（県への協力）

参加者：10校 651名

(エ) 普及啓発イベント（各流域下水道推進協議会への協力）

来場者数：延べ6,993名

(オ) 名古屋文理大学の特別講義「台所から学ぶ下水道」

実施日：平成29年7月5日(水)・12日(水)

名古屋文理大学で下水道（厨房排水）について講義するとともに、学生と一緒に皿の汚れの拭き取り洗いによる効果やエコレシピの効果について検証することで、調理過程で環境に与える負荷について啓発を行いました。

イ 下水道科学館(愛称メタウォーター下水道科学館あいち)の運営

アクティオ(株)との共同体で指定管理者として管理運営を行っている下水道科学館において、8月「夏だ!ワクワク科学館まつり」、12月「エッピー祭」を始め、さまざまなイベントや体験学習会、観察会などの企画を行い、下水道と水環境に関する普及啓発事業を行い、利用促進に努めました。(来館者数:94,163人 うち団体 405団体 9,226人)

平成29年度よりネーミングライツパートナーとなったメタウォーター株式会社とともに、展示物の充実やイベントを行いました。

ウ 下水道研究報告会・下水道技術講習会の開催等

県内自治体等の下水道関係職員を対象に、下水道に関する知識や技術を高めることを目的に、次に掲げる事業を実施しました。

(ア) 下水道研究報告会

下水道に関する調査研究成果の報告及び、特別講演を開催しました。

開催日:平成29年7月20日 参加者数:112名

(イ) 下水道技術講習会

外部から講師を招き、下水道事業に関わる様々な情報を提供する講習会を開催しました。

開催日:平成30年1月30日 参加者数:100名

(ウ) 下水道技術研修会

流域関連市町などの下水道関係者を対象とした水質管理や汚泥処理技術、事業場排水監視に関する技術研修会を開催しました。

開催回数15回 参加者数:延べ327名

(エ) 講師の派遣

中部地方下水道協会主催の技術技能研修へ6名の講師を派遣しました。

エ 自治体下水道事業への技術支援事業

県および関連市町から業務を受託し、技術的な支援を行いました。

(ア) 矢作川流域下水道事業のうち施工管理業務(機械・電気設備工事)(愛知県)

(イ) 豊川浄化センター汚泥処理 施設等整備・運営事業の内 運営維持管理業務におけるモニタリング業務(愛知県)

(ウ) 合流改善水質検査業務(刈谷市)

(3) その他

ア 論文賞受賞

下水道協会誌に平成28年度11月号に掲載された論文「汚水の均等分配を考慮した最初沈殿池分岐水路の構造について」が平成29年度奨励論文賞(実務部門)を受賞しました。

これは、当公社、愛知県、中日本建設コンサルタント(株)で行った共同研究の成果をまとめたものです。

イ 特許登録

日本下水道事業団、積水アクアシステム(株)と共同研究を実施してきました最終沈殿池での固液分離促進装置が、地方共同法人日本下水道事業団の新技术I類に選定され、発明名称「固液分離システムおよび傾斜板」として平成29年7月28日に特許登録されました。

2 環境部の事業

(1) 環境測定に関する技術等を活用した事業

大気汚染測定局の運営管理事業

愛知県が設置した大気汚染測定局51局の測定機器等(245台)の保守点検、修復、データ照合及び異常時の措置対応等の業務を愛知県から受託し、適正に実施しました。

(ア) 区域別管理局数及び管理測定機器数

測定局数	測定機器数	測定機器							合計	
		二酸化硫黄計	浮遊粒子状物質計	窒素酸化物計	オキシダント計	気象計・風向風速計	一酸化炭素計	炭化水素計		微小粒子状物質計
名古屋	3局	1	3	3	3	3		1	2	16
東三河	5局	1	5	5	4	5	1	2	3	26
尾張	15局	3	15	15	12	14	2	2	4	67
内陸	11局	3	11	11	9	10		2	5	51
衣浦	10局	2	10	10	10	10		2	5	49
その他	7局	2	7	7	7	6		2	5	36
合計	51局	12	51	51	45	48	3	11	24	245

(イ) 管理業務

測定機器等の保守点検、機器の修復、データ異常時の対応、データ照合等

(2) 汚水処理施設の水質管理に関する技術を活用した事業

豊田環境保全センター跡地汚水処理施設運営管理事業

愛知県が設置した豊田環境保全センター跡地汚水処理施設の運営管理及び放流水の試験検査等の業務を愛知県から受託し、適正に実施しました。

(ア) 浸出水の処理及び処理施設の維持管理

浸出水を凝集沈殿処理、接触ばっき処理、砂濾過処理、活性炭吸着処理、キレート吸着処理後、籠川へ放流

(イ) 放流水等の試験検査

浸出水が適正に処理されていることなどを確認するために、施設放流水や周辺地下水等、延べ321検体の検査を実施したところ、目標管理値を超過したものはありませんでした。

検査内容	検査項目数	検査内容	検査項目数
施設放流水検査	延 123	周辺民家井水検査	延 66
周辺地下水検査	延 56	汚泥溶出検査	延 7
汚水原水検査	延 45		
籠川原水検査	延 24	年間合計	延 321

(3) 上記の1, 2の事業に関する技術及び知識の普及・啓発に関する事業

大気環境及び水環境保全の普及啓発事業

環境保全に関する知識の普及を図るため、環境保全を目的とした事業活動の紹介と環境保全の重要性についてホームページへの掲載を行い、また、愛知県の協力を得て、大気汚染測定局などの施設公開等の普及・啓発事業を実施しました。

(ア) 豊川市民まつりで、一般市民に公社事業内容の紹介と豊川大気汚染測定局を公開し、測定機器等の概要説明

(5月27日・28日、延べ約2,000人)

(イ) インターンシップ事業で、留学生に国・県・企業の環境への取組状況等を紹介

(8月23日～9月1日(8日間)、留学生3名)

(ウ) 大気汚染測定局研修で、県職員等に測定機器を用いて測定原理や維持管理の説明

(5月16日、県東三河総局環境保全課職員、各県民事務所環境保全課等職員等13名)

3 水道緑地部の事業

(1) 水道施設等運営管理事業

県営水道に関連する2つの業務を受託し、実施しました。

ア 機器点検業務

浄水場等の水質計器、無停電電源装置及び管路の電食防止設備の点検を実施しました。

	設 備	内 訳	設 置 施 設
点検 (1, 226)	水 質 計 器 (352台)	濁度計81台、PH計107台 残塩計87台、その他77台	高蔵寺浄水場 始め74施設
	無停電電源装置 (457台)	充電装置200台、蓄電池200台 インバータ57台	高蔵寺浄水場 始め146施設
	電食防止設備 (417基)	整流器339基、排流器31基 ボンド47基	管路968km
測定	電食防止設備 (2, 765箇所)	管対地電位2, 528箇所 陽極発生電流237箇所	

イ 佐布里水源の森関連業務

水源貯水池である佐布里池周辺の樹木管理等の環境整備を実施しました。

業 務 内 容	数 量	内 訳
草刈・寄植剪定・伐竹	168, 367m ²	草刈161, 048m ² 、寄植剪定3, 893m ² 伐竹3, 426m ²
樹木剪定・植栽撤去	199本	樹木剪定187本、植栽撤去12本
希少植物保全管理	1式	
ダム周辺清掃	55, 826m ²	
水の生活館清掃	1式	

(2) 排水機場等運営管理事業

県が設置した日光川排水機場始め6排水機場及び日光川水閘門の運転操作及び点検整備の業務を受託し、安全かつ確実に実施しました。

区 分		増水運転 操作回数	増水運転 時間	管理運転 操作回数	
日光川排水機場		521回	34回	171回	247時間
日光川河口排水機場			12回		35時間
筏川排水機場			378回		1,088時間
蟹江川排水機場			54回		143時間
西中野排水機場			24回		48時間
尾西排水機場			19回		27時間
日光川 水閘門	水 門	3,794回	437回		
	閘 門		3,357回		

(3) 上記の(1)、(2)の事業に関する技術及び知識の普及・啓発に関する事業

ア 水道知識の普及活動

市町水道職員への水道知識の普及を目的に、水道の課題等に関する講演会及び水道技術に関する基礎研修を開催しました。

催 行	開 催 日	内 容	参 加 者	
講演会	5月29日	「天気の基本知識と気象情報の利用について」 日本気象協会 天気予報士 本田 彰氏	市町の水道職員等 126人	
	8月4日	「海外の水事情について(インド)/(オランダ・ベルギー)」 愛知県企業庁 主査 水野 孝之氏 水資源機構 主幹 羽田野祐介氏	市町の水道職員等 86人	
電気防食 研修	5月17日	電気防食等についての講義、施設点検見学及び実習	県企業庁等の水道職員 24名	
水道技術 基礎研修	10月19日	水道の歴史、浄水処理及び水質管理、送配水管管理等についての講義、実習	市町若 手 水道職 員	22名 (愛知県内)
	10月20日			24名 (愛知県内)

イ 水道の啓発活動

県民に水道の大切さや水源保全について理解を深めてもらうため、県等関係機関と連携して、啓発チラシやボトルウォーターを配布するなどの啓発活動を実施しました。

イベント名	実施時期	実施場所	啓発対象者
リバーサイドフェスティバル	H29.5.4	木曾三川公園	イベント来場者
水道週間	H29.5	県内4箇所	通勤・通学客
佐布里池梅まつり	H30.3.3	知多市	水的生活館来館者

ウ 水害に関する啓発活動

水害の脅威への意識を高め、その対策への理解を深めてもらうため、排水機場の見学者に対し、排水機場及び水閘門が果たす役割や水害に対する知識の啓発活動を実施しました。

※事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告については、定款第10条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項等がないので作成しない。